

沖縄県立博物館・美術館



沖縄県立博物館・美術館は、平成 19 年に、那覇市首里にあった旧沖縄県立博物館が那覇市おもろまちに移転し、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館しました。約 10 万件の博物館資料、郷土の芸術家を中心としたアート作品、ワクワクする演出や PC コンテンツなど、五感で楽しむことのできる施設となっています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
- 電話番号：098-941-8200
- ホームページ：<http://okimu.jp>
- 開館時間：9時00分～18時00分（金曜日・土曜日は20時00分まで）
※入館は30分前まで
- 休館日：月曜日（月曜日祝日の場合は開館。翌平日が休館）
- 駐車場：一般158台、大型バス10台
* 詳細はお気軽にお問い合わせください。

●博物館常設展

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がるサンゴ礁を足元に見ながら、島に上陸するような感覚を体験することができます。また、琉球列島の成り立ちと生物の進化をテーマとした映像とともに、1万8千年前の原始の沖縄に暮らした港川人とその時代の動物相の再現模型を展示しています。「シマの自然と暮らし」のコーナーには、鹿児島から台湾までの海域に散在する琉球列島の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化を紹介しています。



●美術館コレクション展

コレクション展は、沖縄の作家を中心に収集した約4,600件の収蔵資料からテーマ展示の形式で公開しています。本土と異なる風土と歴史の中から培われた独特な芸術作品を楽しむことができます。



●ふれあい体験室

ふれあい体験室には、「自然のしくみ」や「先人の知恵」をテーマに、じかに手に取って観察し、考えながら学習することができる体験キットが準備されています。サンゴ礁をすみかとする生き物たちの共生や、グスクの石積みの技術、また沖縄の島コトバや民具など常設展示の内容とリンクし、子供達に展示内容について興味をもってもらう糸口となるよう構成されています。



●情報センター

情報センターは、沖縄の自然・歴史・美術・文化等に関する情報、および図書資料等をゆっくり閲覧できるスペースとなっています。また、当館のお問い合わせ窓口となっており、展示室での疑問・質問、収蔵品の検索など専門の学芸員に対する質問や団体見学の受け付けを行っています。また、博物館常設展・美術館コレクション展の音声ガイドの貸し出しも行ってあります。

●その他施設

カフェ、ミュージアムショップ、講座室、講堂（350㎡、212席）、救護室、屋外活動スペース博物館・美術館野外展示など。